

問 い 合 わ せ 先
第二管区海上保安本部
海洋情報部監理課長 田中
TEL 022-363-0111(内線311)

平成16年1月21日

平成15年「海の相談室」の利用状況について

第二管区海上保安本部「海の相談室」は、平成3年に開設され、東北管内の海洋情報の提供窓口として、潮汐の干満など海に関する事象、疑問などの問い合わせにお答えしております。

この度、平成15年の利用状況について取りまとめましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 窓口での提供件数は712件でした。
なお、過去の提供件数の推移は次のとおりです。

年(平成)	13	14	15
提供件数	392	765	712

- 2 提供件数の内訳は、潮汐関係(潮干狩り及び釣に使用する潮の干満の時刻など)が最も多く約53パーセントを占め、天文関係(日の出、日の入りの時刻など)が約15パーセント、水路図誌関係(海図、天体位置表など)が約9パーセントとなっています。
- 3 利用者は、個人が最も多く約66パーセントを占め、次いで民間企業等の約23パーセントとなっています。

なお、第二管区海上保安本部「海の相談室」の利用方法などについては、次のとおりです。

住 所： 〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1

電 話： 022-363-0111(内線312)

ファクシミリ： 022-365-1341

利 用 時 間： 土曜日、日曜日及び祝日を除く平日の毎日午前8時30分から午後5時00分まで。

電子メール： sodan2@jodc.go.jp

平成15年「海の相談室」への問い合わせ事例

1 水路図誌にまつわる話し

近年のマリン・レジャーの発展に伴い、

「モーターボートを持っているが、松島湾で使える海図はないか。」
などについて問い合わせが多々あります。

海上保安庁では船舶の航海安全のため、各種の海図を発行しておりますが、残念ながらモーターボートやヨット専用の松島湾の海図は発行しておりません。

このため、海図と同等の精度を持った財団法人 日本水路協会発行のヨット・モーターボート用参考図を紹介しております。

いずれにしても、海図などの水路図誌や救命胴衣などの航海用具を準備し、安全に楽しみたいものです。

2 潮汐にまつわる話し

「新聞で潮名(シオメイ)が違っている。どれが正しいのか。」
という問い合わせが時々あります。

潮名は、地方によっても異なりますし、使う人によっても異なっており、いろいろな使われ方をされています。

一般に、満月や新月の前後の干満の大きい何日間かを大潮、干満の小さい何日間かを小潮と言いますし、中間を中潮、長潮などと言っています。

地方や使う人によって、大潮や小潮などの期間に長短があるため、同じ日でも潮名が異なる場合があります。